

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月27日

計画の名称	「100年に一度のまちづくり」の実現に向けて（防災・安全）													
計画の期間	平成28年度 ～ 令和02年度（5年間）											重点配分対象の該当	○	
交付対象	知立市													
計画の目標	三河地区の交通結節点である知立駅周辺は、鉄道により市街地が分断され、慢性的な交通渋滞が発生するなど円滑な交通の支障となっている。また、都市基盤も脆弱であり、まちの安全性の低下を招いている。 そこで、「100年に一度のまちづくり」として、連続立体交差事業（鉄道高架化）、土地区画整理事業などの一体的な整備によって、鉄道で分断された市街地をひとつにするとともに、利便性の高い交通ネットワークと三河地区の玄関口としてふさわしい集約拠点の形成を図るものである。 本計画では、社会資本総合整備計画（市街地整備）「「100年に一度のまちづくり」の実現に向けて」と連携し、駅前広場及び都市計画道路の整備と併せてバリアフリー化することにより、人が歩きたくなる良好な歩行空間の確保を目指すものである。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		2,779	A	2,779	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H28)	(H30)	(H32)
1	知立駅周辺土地区画整理事業区域内において、知立市ユニバーサルデザイン基本計画に基づき、安全・快適な交通環境を創出することでバリアフリー化対策割合を14%（H28）から25%（H32）に増加			
	$\text{バリアフリー化対策割合（\%）} = \text{バリアフリー化対策面積（m}^2\text{）} \div \text{知立駅周辺土地区画整理事業区域内における駅前広場面積及び都市計画道路の歩道面積（m}^2\text{）} \times 100$	14%	19%	25%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	街路	一般	知立市	直接	知立市	S街路	改築	知立駅周辺地区(名鉄名古屋本線等地区(市))（1-A-1)	駅前広場A=7, 200㎡	知立市	■	■	■	■	■	210	—	
	A01-002	街路	一般	知立市	直接	知立市	区画	改築	知立駅周辺土地区画整理事業((都)知立南北線外) (1-A-2)	区画整理A=13. 3ha	知立市	■	■	■	■	■	2, 569	—	
											小計						2, 779		
												合計						2, 779	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	306	171	232	258	170
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	306	171	232	258	170
前年度からの繰越額 (d)	0	64	53	70	74
支払済額 (e)	242	182	215	254	197
翌年度繰越額 (f)	64	53	70	74	47
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0	23	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	7.01	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画

